

音更町部活動の地域移行に関する推進計画 概要版

はじめに

1 部活動の意義

生徒の人間形成などに大きく関与してきた部活動の持続可能性が低下
将来に向けて生徒にとって望ましいスポーツ・文化芸術環境の整備が重要

2 部活動を取り巻く状況

中学校生徒数の減少傾向続く。10年後にはピーク時から半減
町内中学生の部活動参加率は約8割。ほぼすべての教職員が部活動の指導や運営に携わる

3 部活動に関するアンケート調査

部活動を通じた体力・技術の向上や円滑な交友関係、人間的成長などへの期待
心身の疲労や勉強との両立、多様なニーズへの対応、教員の過度な負担が部活動の課題
専門性の高い指導と学校生活とのバランスの維持が地域移行のポイント

4 部活動の地域移行の目的

生涯学習の観点からスポーツや文化芸術などの機会を創出し、多様な体験と学びの場を整備

5 計画の位置づけと推進体制等

部活動の地域との連携関係構築に向け「音更町部活動の地域移行に関する推進計画」を策定
計画期間は国・道の取組に連動し令和7年度まで
令和7年度はこれまでの取組を継続。地域連携を強化し可能な部活動から地域へ移行

第1章 国の動向と道の取組

国の動向

- 平成29年以降、学校における部活動の現状を踏まえ、地域との連携・協働、地域移行の方向性を示す
- 令和5年度から7年度までの3年間を改革推進期間と位置付け、休日の部活動から段階的に地域移行を進めることを示す（令和4年国のガイドライン）

道の取組

休日の部活動から段階的に地域移行することを基本とし、令和5年度から7年度までの3年間において取組を重点的にを行い、地域の実情等に応じて可能な限り早期の実現を目指す

第2章 教育委員会の取組とスケジュール

| | |
|------------------|--|
| 1 地域移行全体のコーディネート | 地域移行の取組全体をコーディネートする機能を地域全体で構築 |
| 2 段階的な地域移行の推進 | 学校と地域の連携を深めながら段階的に地域クラブ化を推進 拠点校方式による合同部活動の導入拡大 部活動指導員の配置による地域に根差した指導体制の構築 |
| 3 地域クラブ活動の育成と支援 | 生徒の多様なニーズに応える運営団体・実施主体の整備 地域クラブの認定による適切な運営の促進 設置外部活動の地域クラブ化に向けた取組の支援 |
| 4 地域の指導者の確保と育成 | 指導者確保に向けた登録制度などの効果的な手法の検討 生徒の発達段階やニーズに応じた指導者の育成 兼職兼業制度など多様な働き方の普及促進による指導機会の確保 |
| 5 情報発信と理解促進 | 町の取組の状況や地域クラブ活動などの幅広い情報発信 地域移行に伴う保護者の負担などに関する理解の促進 |
| 6 地域クラブ活動参加者の支援 | 大会参加補助、就学援助、施設使用料軽減などの制度設計 安全で効率的な移動手段的確保に向けた検討 |
| 7 スケジュール | 令和6年度まで アンケート調査、部活動改革協議会、部活動指導員 など 令和7年度 新規地域クラブの設置、学校と地域の連携推進 など 令和8年度から 地域連携の拡大、推進計画の見直し |